



西濃エイジフレンドリーで ゼロ災プロジェクト2025 振り返り

【プロジェクトキャラクター】

みんなが安心して働ける職場づくりを目指して

2025年12月4日 ゲームセット集会

大垣労働基準監督署

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

プロジェクト実施の背景について

- 2024年の労働災害による死傷者428人のうち、60歳以上の労働者が占める割合が27.6%、50歳代が30.1%、40歳代が16.1%、30歳代が13.3%、20歳代が10.7%、19歳以下が2.1%となっています。50歳代以上の労働者が労働災害のうちの57.7% (40歳代以上に至っては73.8%) を占めており、その割合も年々増加しています。
- 経験年数別に見ると、3年未満の労働者の占める割合が35.8%となっており、経験年数の短い労働者が労働災害の一定数を占めています。
- 428人の死傷者のうち、外国人労働者は27人であり、労働災害全体の6.3%を占めています。前年と比較して10人 (58.8%) 増加しており、労働災害全体に占める割合も2.1% (前年は4.2%) 増加しています。
27人の外国人労働者のうち、経験年数 3年未満の労働者は88.9%と多数を占めていることから、経験の少ない労働者や外国人労働者の労働災害防止も重要です。

西濃エイジフレンドリーでゼロ災プロジェクト2025の実施

私たちは

「エイジフレンドリーガイドライン」に基づく取組を通じて、西濃地域のすべての職場が「みんなが安心して働く職場づくり」に取り組むことで、労働災害ゼロを目指し

西濃エイジフレンドリーでゼロ災プロジェクト2025

を実施することとしました。



6月3日 プレーボール集会

★ 大垣ミナモソフトボールクラブの岩月優衣選手・中村美瑠選手に動画でプレーボール宣言をしていただきました。



広報活動（リーフレット・横断幕・ポスター）



西濃エイジフレンドリーで ゼロ災プロジェクト2025

みんなが安心して働ける職場づくりを目指して

2025年 7月1日 ➡ 10月31日

概要

働く60歳以上の方が増加する中、国は2020年に「エイジフレンドリーガイドライン」を策定し、高年齢者でも働きやすい職場環境づくりによる労働災害防止を進めています。このガイドラインに定める取組を行うことは、高年齢者だけでなく、体力に自信のない労働者や、経験年数の少ない労働者、外国人労働者、障害のある労働者など、すべての労働者にとって安心な職場づくりにつながります。

私たちは、西濃地域のすべての職場が「みんなが安心して働ける職場づくり」に取り組むことをを目指して、「西濃エイジフレンドリーでゼロ災プロジェクト2025」を開催します。

実施手順

- STEP 1 「チェックリスト」を参考に職場の現状の洗い出し
- STEP 2 「労働災害ゼロ」のための取組事項の決定
- STEP 3 「プロジェクト参加宣言書」の提出、職場で実践

OGAKI CHUたろう

【年代別に見た労働災害発生状況の推移】(大垣管内)

年	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
2009	1.1%	15.4%	20.3%	28.3%	24.3%	7.4%
2010	2.8%	12.1%	17.4%	21.2%	29.3%	20.3%
2011	1.8%	11.2%	11.9%	17.2%	26.4%	22.9%
2012	2.8%	11.2%	10.8%	20.4%	25.3%	26.4%
2013	2.2%	10.7%	11.3%	16.3%	26.1%	27.1%
2014	2.2%	10.7%	11.3%	16.3%	26.1%	27.1%
2015	2.2%	10.7%	11.3%	16.3%	26.1%	27.1%
2016	2.2%	10.7%	11.3%	16.3%	26.1%	27.1%
2017	2.2%	10.7%	11.3%	16.3%	26.1%	27.1%
2018	2.2%	10.7%	11.3%	16.3%	26.1%	27.1%
2019	2.2%	10.7%	11.3%	16.3%	26.1%	27.1%
2020	2.2%	10.7%	11.3%	16.3%	26.1%	27.1%
2021	2.2%	10.7%	11.3%	16.3%	26.1%	27.1%
2022	2.2%	10.7%	11.3%	16.3%	26.1%	27.1%
2023	2.2%	10.7%	11.3%	16.3%	26.1%	27.1%
2024	2.2%	10.7%	11.3%	16.3%	26.1%	27.1%

【経験年数別に見た労働災害発生状況(2024年)】(大垣管内)

年齢	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	10~20年未満	20年以上
1年未満	20.1%	19.2%	18.9%	14.5%	11.7%	15.7%	10.1%

●労働災害に占める50歳以上の労働者の割合は年々増加し、2024年は57.7%となりました。

●2024年は経験3年未満の労働者の占める割合が35.8%となっており、経験年数の若い労働者の労働災害が一定数を占めています。

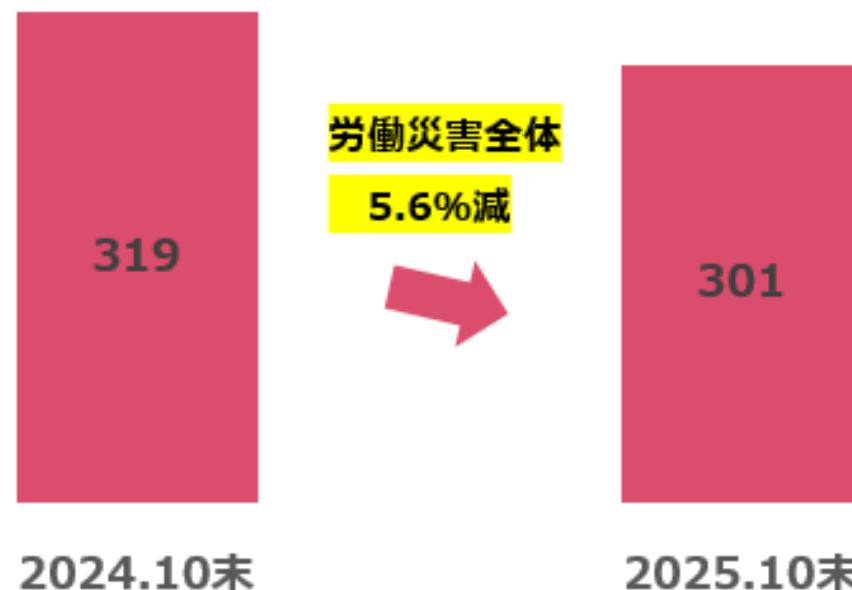
★170社がプロジェクトに参加しました

8月28日 一日監督署長イベント

- ★ 三菱マテリアル株式会社 加工事業カンパニー岐阜製作所様にご協力いただきました。
- ★ 中村選手・岩月選手が一日監督署長として安全パトロールなどを行いました。



- ★ プロジェクトに参加した170社のうち、無災害を達成した企業は159社でした。
- ★ 西濃地域の労働災害全体も、10月末現在、前年同時期比5.6%減少しました。

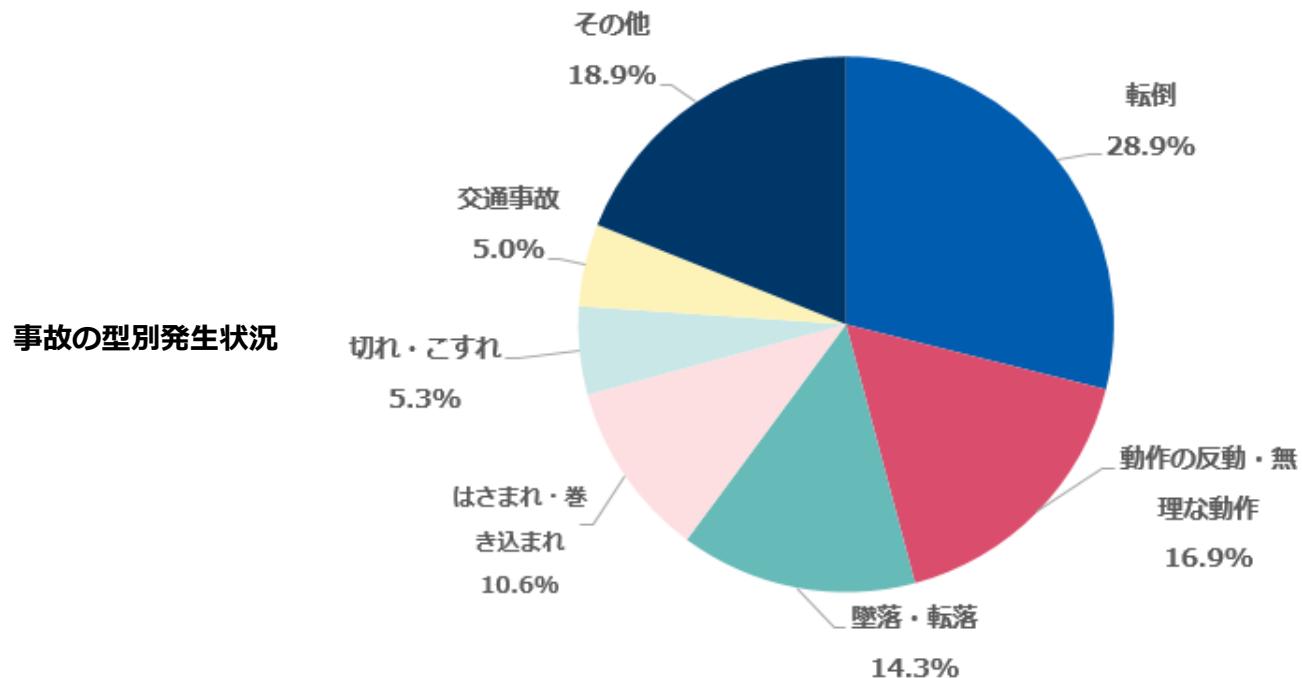


労働災害の発生状況

2025年10月末現在の労働災害発生状況

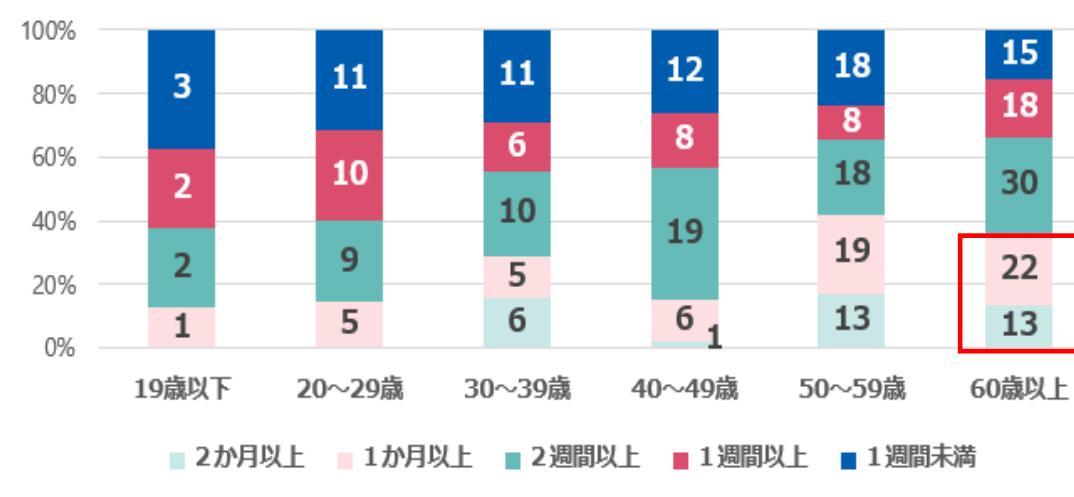
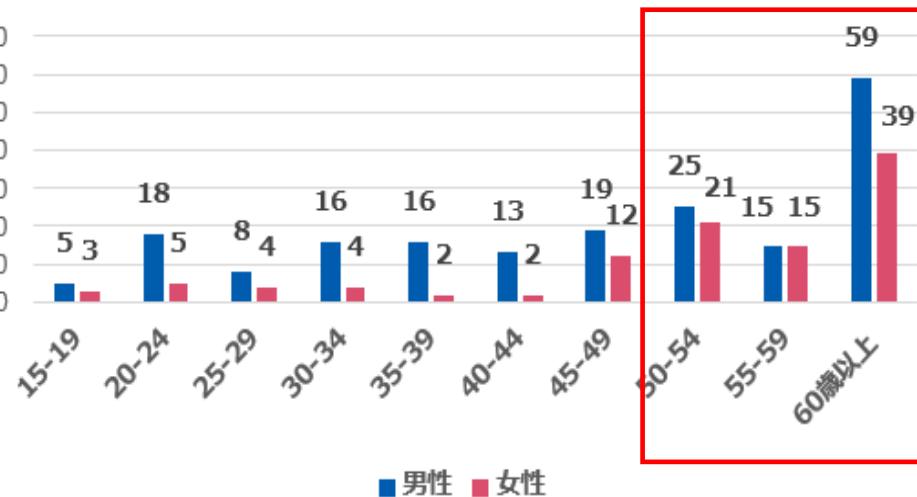
※休業4日以上の死傷者数（新型コロナウイルスによるものを除く）

- 事故の型では、転倒災害が28.9%、動作の反動・無理な動作による災害が16.9%、墜落・転落災害が14.3%、はざまれ・巻き込まれ災害が10.6%を占めており、概ね例年と同様の傾向が続いています。
特に、転倒災害は前年同時期比19.2%、動作の反動・無理な動作による災害は13.3%、交通事故は87.5%と大幅に増加しました。



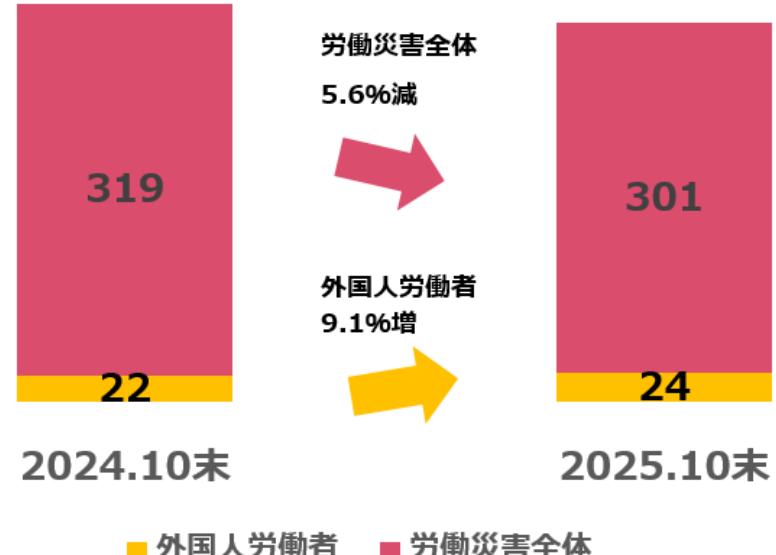
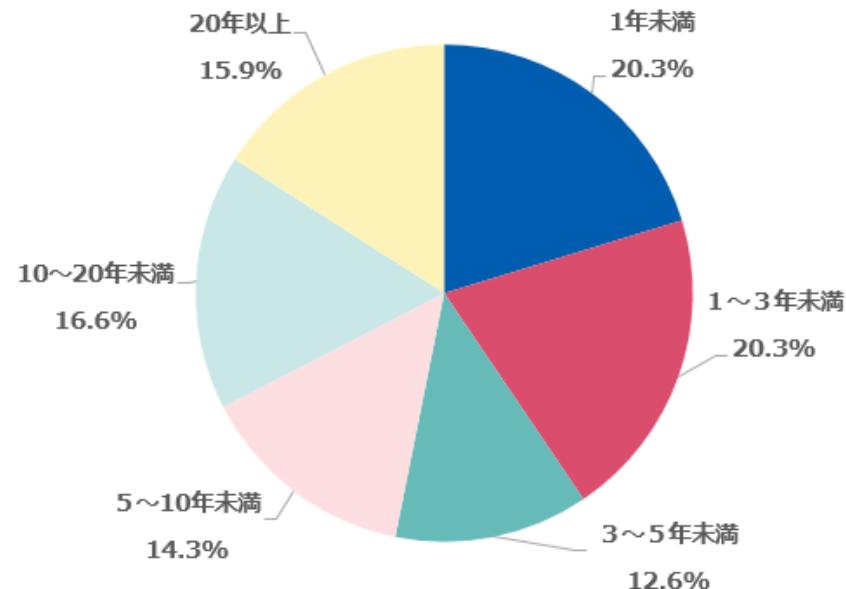
労働災害の発生状況

- 死傷者301人のうち、60歳以上の労働者の占める割合が32.6%、50歳代が25.2%、40歳代が15.3%、30歳代が12.6%、20歳代が11.6%、19歳以下が2.7%となっています。50歳代以上で57.8%を占めており、相変わらず高年齢労働者の割合が高くなっています。
- 60歳以上の死傷者のうち、35.7%が休業見込み1か月以上であり、同様に50歳代では42.1%と、年齢に伴い休業が長期化しています。



1 プロジェクト実施の背景について

- 301人の死傷者の中、外国人労働者は24人であり、労働災害全体の8.0%を占めています。前年同時期と比較して10人(9.1%)増加しており、労働災害全体に占める割合も1.1%（前年は6.9%だったので）増加しています。
24人の外国人労働者の中、経験年数3年未満の労働者は79.2%と多数を占めていることから、引き続き、経験の少ない労働者や外国人労働者の労働災害防止も重要です。



経験年数別

外国人労働者の割合

エイジフレンドリーガイドラインに基づく継続的な取組の実施

- 労働災害は減少していますが、転倒災害や高年齢労働者の労働災害、経験年数の少ない労働者・外国人労働者などの労働災害が多く発生している状況は続いています。

**引き続き みんなが安心してける職場づくりを目指して
エイジフレンドリーの取組をお願いします！**

西濃エイジフレンドリーでゼロ災プロジェクト2025



わたしたちは 労働災害ゼロを目指す職場を応援しています！



大垣労働基準監督署 (一社) 大垣労働基準協会 大垣ミナモソフトボールクラブ